

最近の雇用情勢について

(平成30年1月)

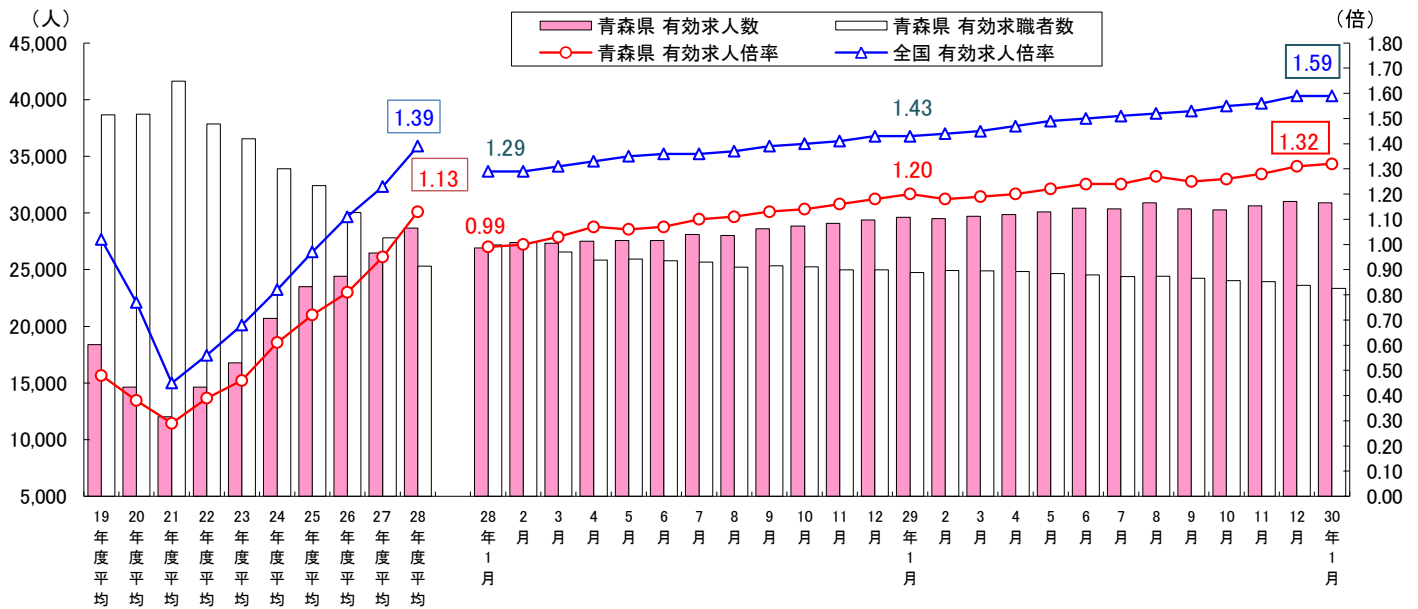
青森労働局

I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

1月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.4%減少し30,904人、有効求職者数(同)は1.1%減少の23,361人で、有効求人倍率(同)は1.32倍となり、前月を0.01ポイント上回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.43倍となり、前月を0.02ポイント上回り、受理地別の倍率を0.11ポイント上回った。

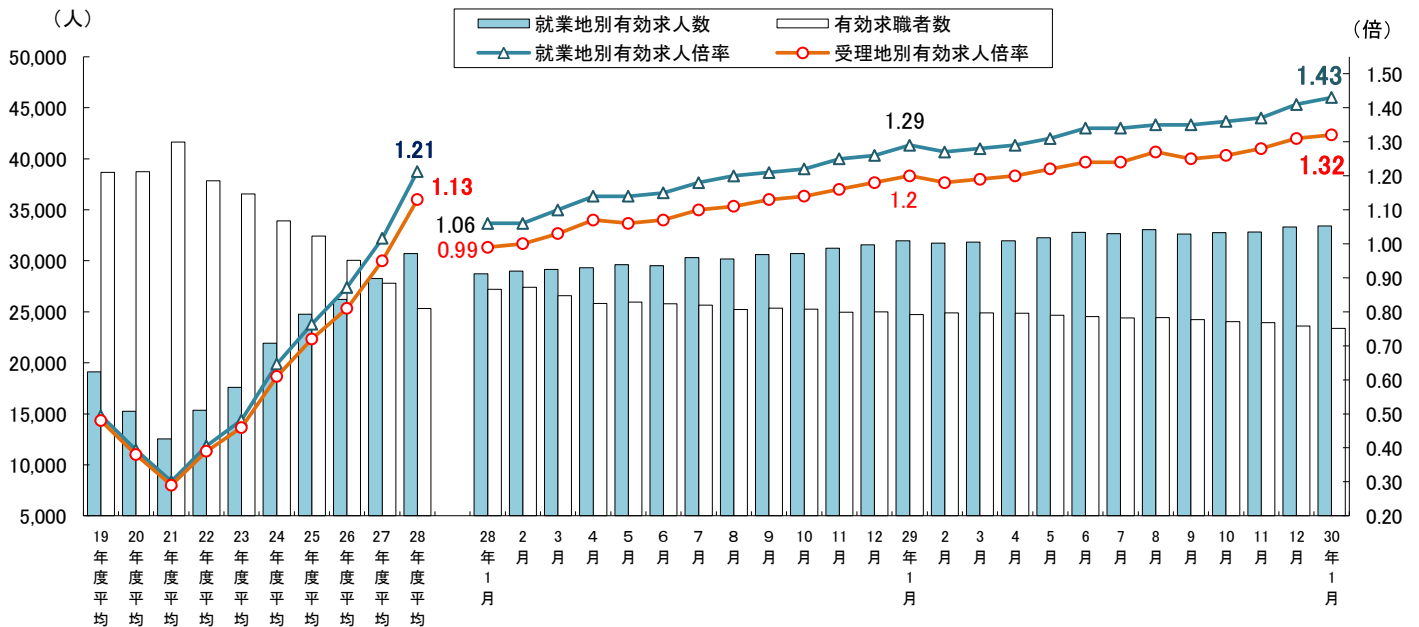
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



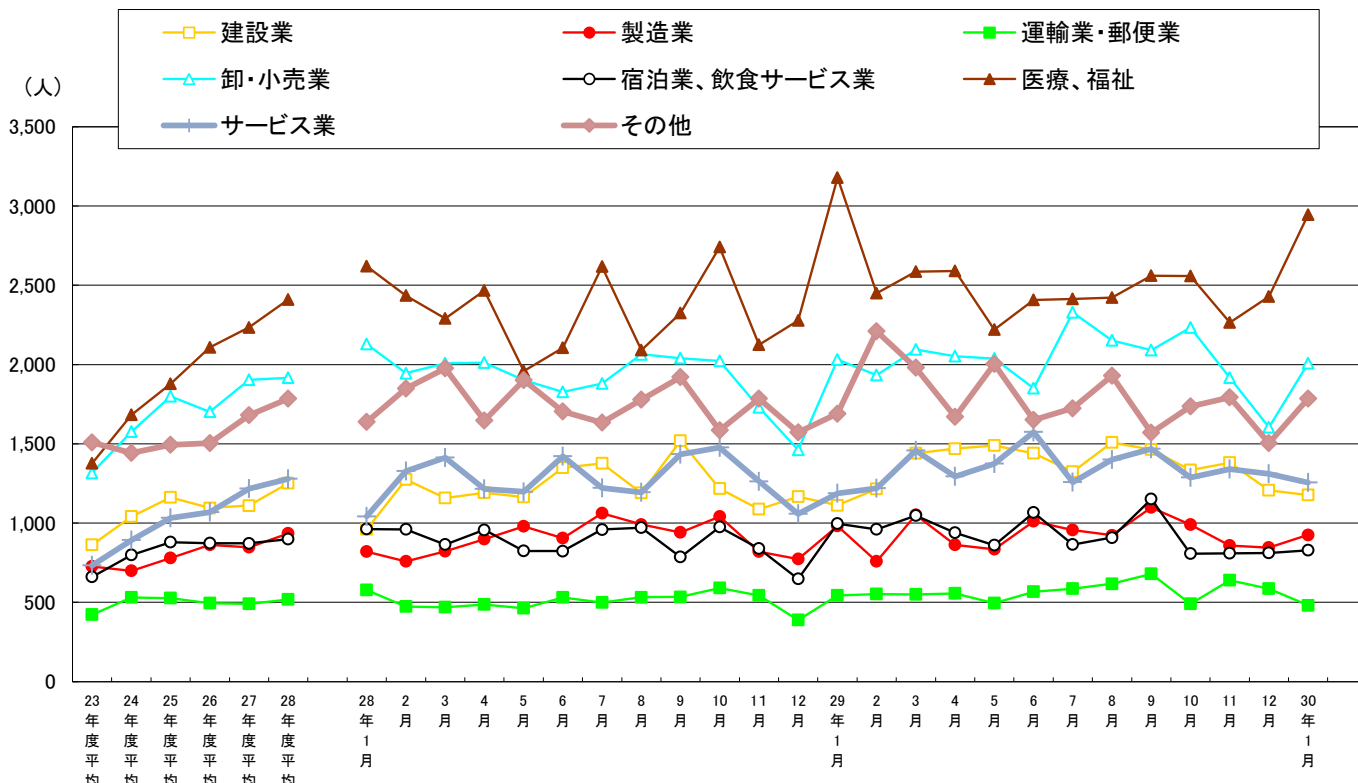
全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成29年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

1月の新規求人数(原数値)は前年同月比2.7% (320人) 減少、前月比10.8% (1,107人) 増加の11,402人。

産業別で前年同月と比較すると、建設業、金融・保険業、不動産、物品賃貸業、教育、学習支援業、サービス業等で増加し、製造業、運輸、郵便業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊、飲食サービス業、医療、福祉等で減少した。製造業では、繊維工業、はん用・生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電気機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等が減少した。



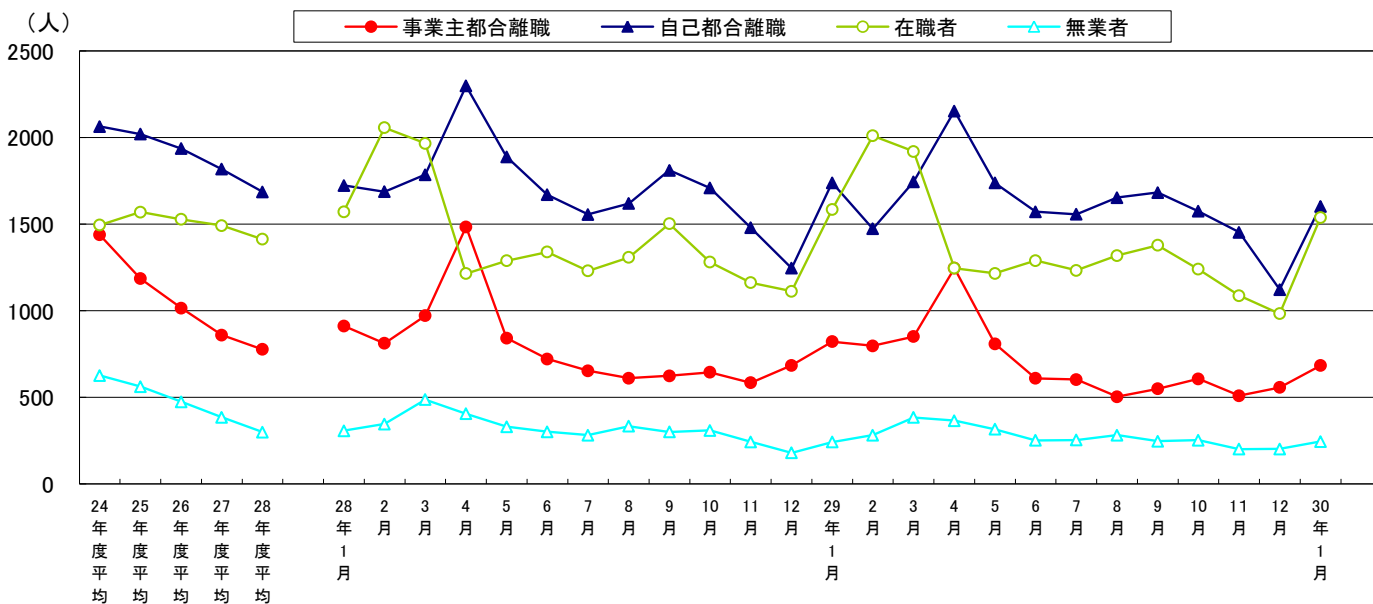
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

1月の新規求職者数は、前年同月比7.4% (329人) 減少、前月比41.4% (1,213人) 増加の4,143人。

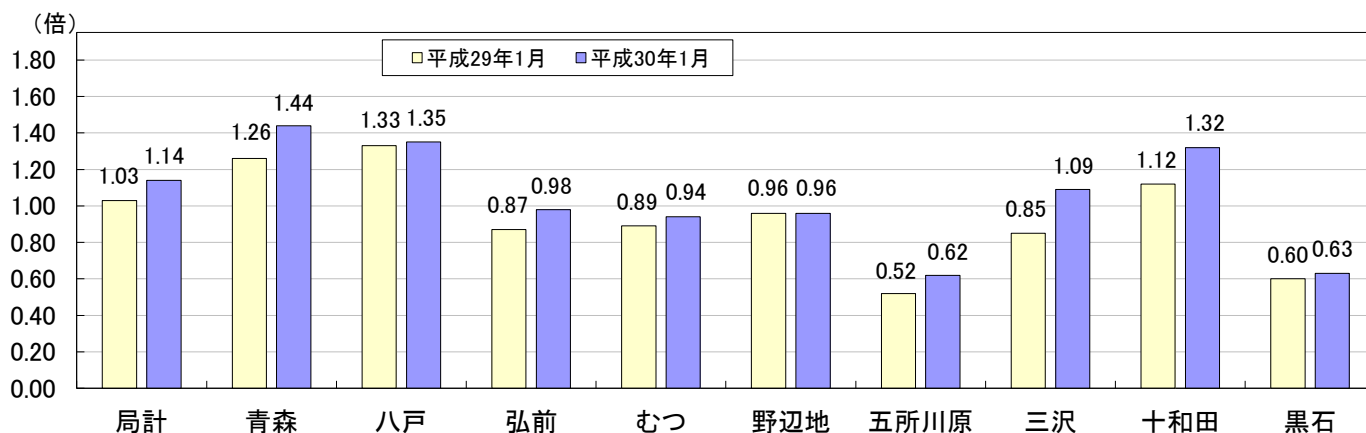
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は3.0% (47人) 減少し、離職者は10.8% (285人) 減少、無業者は1.2% (3人) の増加となった。

離職理由でみると、事業主都合は16.8% (138人) の減少、自己都合は7.8% (136人) の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

1月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.14倍となり、前年同月を0.11ポイント上回った。
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

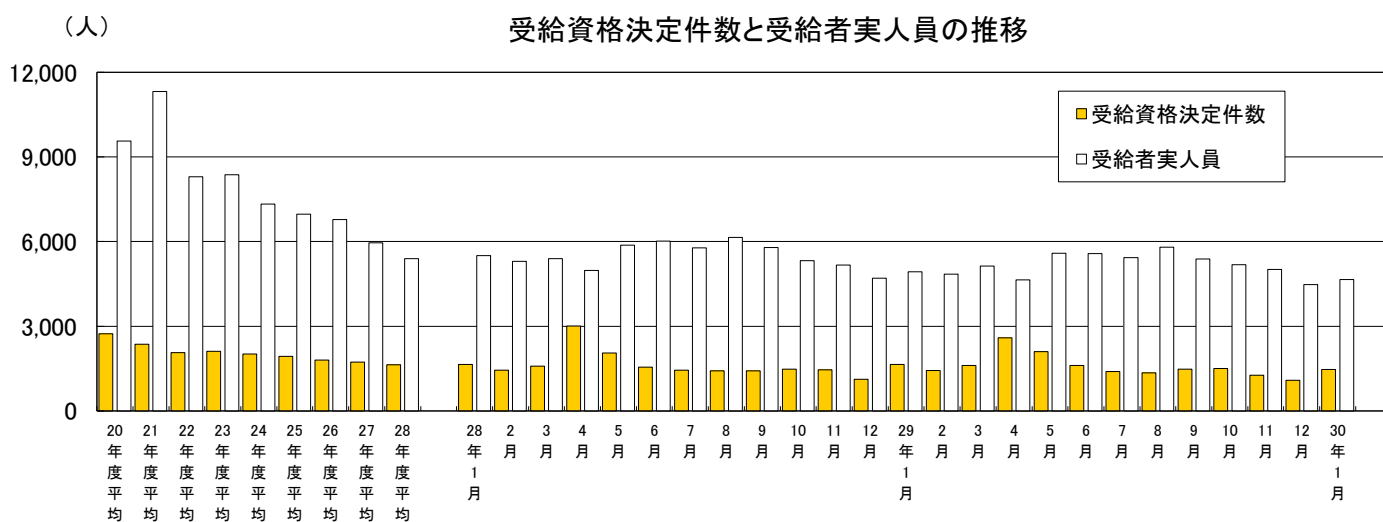


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	25,699	6,481	5,567	4,693	1,450	1,112	2,458	1,407	1,134	1,397
有効求人数	29,325	9,315	7,539	4,608	1,358	1,064	1,521	1,532	1,502	886

V 雇用保険の状況

1月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比5.5%(270人)減少、前月比では4.1%(184人)増加の4,656人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月11.2%(184件)減少、前月よりも34.6%(376件)増加し1,463件となった。

資格喪失者(高齢者、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比18.2%(71人)減少、前月比60.8%(121人)増加し320人となった。



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

